

アースドリル掘削作業時の注意事項について

近年、建造物設計の耐震性強化により、アースドリル杭に於いても大径化・支持層への根入れの長尺化・拡底施工の増加等、施工条件が非常に厳しいものとなっております。

このような状況の中で、ケーリーパーの芯棒部の折損事例が出て来ております。当該部分は、カタログや取扱説明書に記載しておりますスペック(※1)内での掘削作業に必要な強度を十分に満たしておりますが、スペックを超えた作業を長期に渡り行なった場合、折損する場合がございます。

特に大口径バケットや拡底バケットの使用時には、ケーリーパーに衝撃荷重が掛からぬよう、くれぐれも慎重な操作を心掛けて頂くようお願い致します。

(※1) KE-1200シリーズ	最大掘削径	一般土質	:1200mm
		軟土質(N値30以下のローム層、軟質シルト層)	:1500mm
KE-1500シリーズ	最大掘削径	一般土質	:1500mm
		軟土質(N値30以下のローム層、軟質シルト層)	:1800mm